

拓

水

10月号

No. 229

発行所

兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協
〒652

神戸市兵庫区新在家町123

発行人 山田岸松

TEL 681-6954~7

編集 拓水編集委員会

一部 10円

急がれる開発途上国への援助

初の国際漁業協同組合会議で訴え

主催 I・C・A

世界三十二カ国より 漁業関係代表参加

ホスト全漁連

去る九月二十九日から十月三日まで東京都千代田区大手町「経団連会館」国際会議場において、国際協同組合同盟(I・C・A)の主催により全漁連がホストとなって、世界で初めての国際漁業協同組合会議が開催され、世界の国々から漁業関係者約四百名が出席した。

同会議においては、「漁業の近代化と資源の合理的利用」を主テーマとして、協同組合の役割について五日間に亘り熱心な討議が行われ、特に開発途上国の漁業開発のための技術援助については、全世界の義務として相協同して総合的プランのもとにI・C・Aを中心に緊急且つ積極的に行なう必要があることを出席者の心に強く訴えられた。

なお、この会議で提議された各分野の課題については、I・C・A漁業小委員会で集約され、具体的活動をI・C・Aを通じて推進されることになる。

この会議は一九七二年十月と評価された。月ポランドのワルシャワ。又I・C・Aは一九七〇年において第二十五回I・C・A大会を開催された際、全漁連を「協同組合開発の十連代表」としてスローガンに協同組合の組織強化をはじめ協同組合の発展に努めること、世界の食糧事情の危機傾向に焦点をあわせて討議された。I・C・A漁業小委員会は、この会議で提議された各分野の課題については、I・C・A漁業小委員会で集約され、具体的活動をI・C・Aを通じて推進されることになる。

衆議院議員

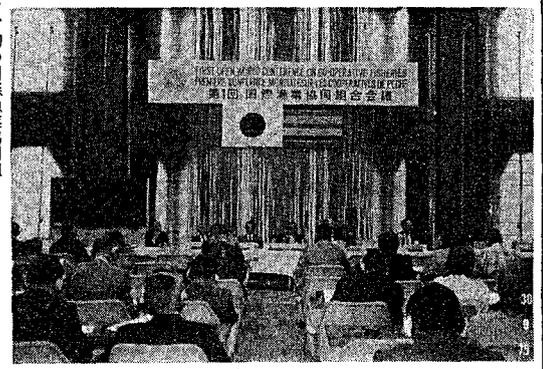
原先生を迎えて激励会

淡路水交会



淡路水産界の団結を語る原先生

淡路水産界に於て数々の難題等解決に情熱をかたむけ東西奔走して来た原先生(衆議院議員)の活躍を激励し、今後の活動に意を鼓舞する。淡路水産界の団結を語る原先生。淡路水産界に於て数々の難題等解決に情熱をかたむけ東西奔走して来た原先生(衆議院議員)の活躍を激励し、今後の活動に意を鼓舞する。



初め国際漁業協同組合会議の会議が要請された。

原発安全協定結ぶ

関西電力と日本海六府県漁連

日本海西部六府県漁連(で立地県や市町村の自治体と企業との間に)は、関西電力(京都市)と協定を結ぶ。この協定は、関西電力の原子力発電所(福井県大飯郡高浜町)の安全に関する取決めの一つとして注目を集めている。この協定は、関西電力の原子力発電所(福井県大飯郡高浜町)の安全に関する取決めの一つとして注目を集めている。

兵庫漁連関西国際空港

対策委員会発足させる

兵庫漁連は、関西国際空港(三組合)が建設されることにより、自然環境の破壊・汚濁・騒音等を独自で調査検討する。対策委員会を発足させる。兵庫漁連は、関西国際空港(三組合)が建設されることにより、自然環境の破壊・汚濁・騒音等を独自で調査検討する。

ガザミ、著養殖試験

助成金交付

赤穂漁協水産青年会へ

資源保護協会の昭和五十年度助成金の交付が決定された。赤穂漁協水産青年会(耳田盛治)は、ガザミの著養殖試験に助成金を交付された。資源保護協会の昭和五十年度助成金の交付が決定された。

底曳漁業の省力化にたくましい力を!

ヤンマーディーゼル

3ME15形(15馬力) 3M15形(15馬力) 2ES15形(15馬力)

ヤンマーディーゼル株式会社

9月の漁況と海況

●海況

※播磨灘……8～9日の調査結果では東部各層とも26.6°～26.5°Cで平年並からやや高目、北西部表・中層27.0°C内外、底層26.5°～26.7°C、平年比較で表層は平年並、中層で+0.8°C、底層+1.1°Cとも高目、中央部～西南部表、中層27.0°C内外、底層26.5°C、平年比較で表層は平年並、底層+1.6°C高目。

※大阪湾西部(淡路島寄り)……18日の調査では北部各層とも25.4°～26.2°C、平年比較で表層は平年並、中層+0.7°C、底層+0.4°C、中～南部表、中層25.5°～26.0°C、底層24.4°～24.7°C、平年比較で表・中層+1.0°C、底層+0.4°Cそれぞれ高目。

※紀伊水道北部……17日の調査では東部表、中層23.6°C、底層24.4°C、平年比較で表・中層+1.0°～+1.3°C高目で底層は平年並、中部表層26.0°～26.4°C、中層25.8°C、底層24.7°～25.0°C、平年比較で表層+1.3°C、中層+0.8°C、ともに高目で底層は平年並、西部各層とも26.2°Cを示し平年比較で各層とも+1.2°～+1.3°C高目を示したか中～東部の底層は平年並に復したようです。

●漁況

明石瀬戸及びその東・西海域では小型底曳網でカレイ類、エビ類、タコ類、イカ類、カスゴ、カサゴ、曳網でタチウオ、サワラ、ハマチ、マルアジ、一本釣でススキ、マルマシ、延縄でフグ、メバル、アナゴ、アコオ、刺網でキス、船曳網でカタクチシラス、吾智網でハマチ、タイなど。友ヶ島水道及びその南・北海域では小型底曳網でエビ類、イボタイ、アナゴ、タイ、曳網でタチウオ、一本釣でタイ、アジ、延縄でタイ、チヌ、磯刺網でカワハギ、グレ、ペラなど。沼島周辺及び南・西海域では小型底曳網でエビ類、カニ類、ハモ、シヤコ、エソ、タコ、一本釣でアジ、タイ、ハギ、曳網でタチウオ、磯刺網でクルマエビ、イセエビ、エソ、グチ、突棒でサザエ、タコ、八田網でマメアジなど。鳴門海峡及びその南・北海域では小型底曳網でエビ類、カニ類、シタ類、サワラ、サワラ、ハマチ、延縄でアナゴ、カサゴなど。播磨灘中部海域では小型底曳網でエビ類、カニ類、カレイ類、タコ類、流し刺網でサワラ、延縄でフグ、北部では巾着網でカタクチ、マイワシ、沖廻し対象網でペラ、タコ、キス、カワハギ、アマカレイ、カスコなどが各海域での主な漁獲対象魚である。

●各地

(注)以下は1日1隻当りの漁獲量 @は1キロ当りの値段内、何隻は出漁隻数)

※明石浦…小型底曳網メイトカレイ10キロ @2,750 @1,750、タコ10キロ @2,800 @350、エビ8キロ @1,100、アマカレイ3キロ @1,750、クルマエビ6キロ @3,750、カスゴ@550、20隻(大阪湾北西部夜曳)。メイトカレイ6キロ、タコ10キロ、エビ6キロ、アマカレイ2キロ、カサゴ6キロ @大1,350 @300、クルマエビ3キロ15隻(明石瀬戸昼曳)。クルマエビ7キロ、ハリイカ6キロ @850、メイトカレイ15キロ、アマカレイ2キロ、エビ9キロヒイカ2キロ @400、アナゴ3キロ @1,000、45隻(播磨灘東部夜曳)。各曳網タチウオ100尾1尾200、40隻。サワラ6キロ @1,750 @500、5キロ @700、20隻。各一本釣ススキ6キロ @2,150、10隻。マルアジ @20尾1尾325、@35尾1尾175 10隻。延縄アコオ4キロ @5,250、メバル6キロ @1,300、アナゴ5キロ @1,000、3隻。ハマチ吾智網50キロ @1,150、5隻。ブンチン漕イシカレイ7キロ @1,600 @900、6隻

※岩屋…タイ吾智網13キロ @4,750、11隻。小型底曳網エビ8キロ @1,500 @550、小エビ30キロ @175、ハモ3キロ @1,450、メイトカレイ4キロ @3,000、30隻。カタクチシラス船曳網130～220キロ @400～600、7統。曳網サワラ6キロ @1,600 @300 @10 @825一本釣マルアジ10尾1尾175、ヒラアジ5キロ @1,450 @170。アオリイカ9キロ @950、5隻。各延縄フグ30キロ @2,000 @1,650、30隻。キス25キロ @1,950、3隻。各刺網キス25キロ @1,400、6隻。ウズラハギ5キロ @800、アテナメバル3キロ @1,150、アマカレイ5キロ @1,500、2隻。タコ産卵網30キロ @1,000 @600、3隻。

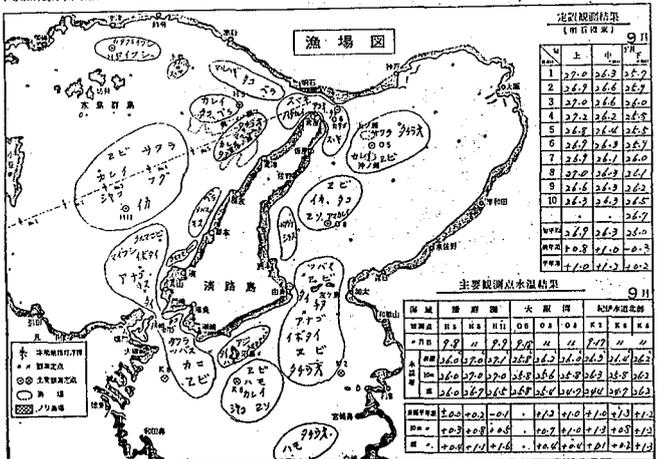
※由良…各小型底曳網メイトカレイ18キロ @5,200、3隻。イボタイ10キロ @1,100、アナゴ7キロ @1,200、シラサエビ6キロ @1,500、その他20キロ @500、70隻。タチウオ曳網32キロ @600、70隻。各一本釣ヒラアジ11キロ @1,000、20隻。タイ5キロ @5,400、20隻。延縄タイ4キロ @5,400、チヌ7キロ @2,500、5隻。各刺網キス16キロ @1,400、7隻。カワハギ10キロ @1,000、グレ5キロ @800、ペラ5キロ @1,000、30隻。突棒アワビ4キロ @2,100、サザエ12キロ @600、5隻。

※沼島…小型底曳網カワツエビ1キロ @1,000、ガザミ10キロ @300以上、110、小エビ2キロ @450、ハモ @300以上) 12キロ @1,300、@3キロ600、雑エビ5キロ @550、活5キロ @750、タコ6キロ @400、メイトカレイ2キロ @700 @400、シヤコエビ10キロ @100、エソ5キロ @70、40隻。各一本釣アジ20キロ @900 @650、60隻。タイ3キロ @2,700 @1,500、4隻。延縄エソ5キロ @80、2隻。曳網タチウオ40キロ @500、3隻。磯刺網クルマエビ6キロ @4000、エソ13キロ @60、グチ13キロ @150、イセエビ1キロ @3,500、25隻。突棒サザエ4キロ @570、タコ6キロ @400、35隻。八田網マメアジ700～900キロ @160、3統。

※福良…小型底曳網エビ10キロ @500、シラサエビ1キロ @3,400、カワツエビ1キロ @1,200、ガザミ20キロ @3,1,200 @450、120隻。各曳網タチウオ20キロ @800、@25キロ @400、@5キロ @180、120隻。サワラ9キロ @1,550、30隻。ツバス10キロ @1,200、15隻。タコ産卵網30キロ @550、3隻。八田網マメアジ200～300キロ @250、2統。

●本月の特記事項

※中旬より大阪湾北西部(上の瀬中心)並びに播磨灘東部(高瀬瀬中心)海域で曳網によるサゴシ(当才魚1年魚)の好漁獲(1日1隻40～80尾、目廻り300～700g)がみられているが反面神戸沖、瀬ノ瀬南部のタチウオ曳網は本月に入り低調となった。紀伊水道北部海域(沼島南東)で操業する小型底曳網で近年ないハモの入網を見ている。(沼島漁協所属船1日1隻15～20キロ) (水試・岩井)



8月の漁況と海況

●海況

※播磨灘……8～9日の調査結果では東部各層とも26.0°C、平年比較で表層はほぼ平年並、中層で+1.4°～+2.0°C高目、北西部表、中層26.0°～27.0°C、底層25.4°～26.0°C、平年比較で表層は平年並、中層で+1.0°C、底層+1.0°C、西南部表、中層26.0°～26.7°C、底層22.6°～24.9°C、平年比較で中層+1.7°C、底層+1.0°Cとも高目。

※大阪湾西部(淡路島寄り)……21日の調査では北部各層とも25.0°～25.4°C、平年比較で表層は平年並、中層+0.7°C、底層+1.3°C、南部表、中層25.4°～26.0°C、底層24.8°C、平年比較で表層+0.7°C、中層+0.9°C、底層+2.1°Cとも高目。

※紀伊水道北部……22日の調査では東部表、中層27.0°C、底層26.4°C、平年比較で表層+1.0°C、中層+1.5°C、底層+3.1°C、中部表、中層26.2°～26.8°C、底層25.2°～25.8°C、平年比較で表、中層は平年並、底層で+2.3°C、西部各層とも25.8°C、平年比較で表層は平年並、中層で+0.7°C、底層+1.3°Cとも高目で全海域(播磨灘、大阪湾、紀伊水道北部)を通じて底層では大なる高目を示している。

●漁況(概況)

明石瀬戸及びその東、西海域では小型底曳網でマダコを主体にしてアマカレイ、メイトカレイ、クルマエビ、雑エビ、ガザミ、吾智網でメダカ、曳網でマルアジ、タチウオ、一本釣でススキ、ツバス、延縄でカサゴ、メバル、アナゴ、ペラ、グチ、流し刺網でキス、磯刺網でメイトカレイ、アマカレイ、ウズラハギ、八田網でマメアジ、マイワシなど。友ヶ島水道及びその南、北海域では小型底曳網でタコ、アナゴ、ハモ、マダカ、各刺網でキス、グレ、チヌ、アマカレイ、延縄でハモ、アナゴ、カサゴ、曳網でタチウオ、一本釣でタコ、メダカ、突棒でテングサなど。沼島周辺及び鳴門南・北海域では小型底曳網でエビ類、カニ類、エソ、アサシタ、ハモ、アナゴ、ヒイカ、曳網でタチウオ、サワラ、一本釣でメダカ、チダイ、イサギ、アジ、磯刺網でクルマエビ、アイゴ、グチ、エソ、突棒でサザエ、アワビ、タコなど。播磨灘中・西部海域では小型底曳網でエビ類カレイ類、カニ類、イカ類ウシノシタ、タマガンゾウ、シヤコ、流刺網でサワラ播磨沿岸ではペラ、タコ、キス、カワハギ、アマカレイ、キスなどが各海域での主な漁獲対象魚となっている。

●各地

(注)以下は1日1隻当りの漁獲量、@は単価内、何隻は出漁隻数)

※明石浦…小型底曳網マダコ23キロ @200、クルマエビ7キロ @3,250、アマカレイ14キロ @2,000 @600、メイトカレイ4キロ @2,850、ガザミ5キロ @1,000、エビ6キロ @1,300、25隻(大阪湾北西部夜曳)。タコ35キロ @200、メイトカレイ6キロ @2,600、クルマエビ3キロ @3,250、アマカレイ10キロ @2,000(播磨灘東部夜曳5隻)。カサゴ20キロ @1,650、@600タコ15キロ @200、アコオ8キロ @3,000 @1,500、(明石瀬戸昼曳8隻)。各海域共1日1隻カスゴ4～5キロ @200～300)各曳網タチウオ200尾1尾250～300、30隻。マルアジ40尾1尾250、50隻。ブンチン漕イシカレイ10キロ @1,500、タコ5キロ @300、5隻

※岩屋…小型底曳網エビ10キロ @1,750 @700、メイトカレイ4キロ @1,850、タコ7キロ @600、クルマエビ2キロ @4,000、アナゴ2キロ @1,250、ハモ @2キロ @2,100、35隻。タイ吾智網8キロ @4,500、10隻。一本釣アジ25尾1尾230(目廻280g)。メバル、カサゴ3キロ @1,400、ススキ3キロ @5,500、計80隻。各延縄メバル7キロ @1,400、アナゴ7キロ @1,000、グチ5キロ @150、5隻。キス20キロ @2,000、グチ15キロ @150、5隻。ペラ30キロ @1,000、10隻。各刺網キス15キロ @1,650、5隻。ウズラハギ20キロ @300、メイトカレイ8キロ @1,250、2隻。タコ産卵網80キロ @850、3隻。八田網豆アジ20～30箱1箱850、マイワシ150～200箱1箱275、6統。

※由良…小型底曳網タイ18キロ @4,700、4隻。ハモ7キロ @2,500、タコ12キロ @700、アナゴ10キロ @1,200、その他15キロ @400、70隻。各刺網キス15キロ @1,300、12隻。グレ10キロ @800、チヌ7キロ @2,000、アマカレイ4キロ @2,000、その他8キロ @800、25隻。各延縄ハモ20キロ @2,400、5隻。アナゴ32キロ @1,100、カサゴ15キロ @1,000、5隻。各一本釣タイ3キロ @5,000、0、20隻。タコ8キロ @700、30隻。タチウオ曳網27キロ @600、70隻。突棒テングサ100キロ @50、10隻。

※沼島…小型底曳網カワツエビ3キロ @1,600、小エビ25キロ @700(死)520、ガザミ20キロ @1,000 @450、ハモ7キロ @2,000 @700、アナゴ3キロ @500、ヒイカ8キロ @150、グチ10キロ @150、エソ13キロ @12キロ @70、41隻。各一本釣アジ35キロ @2,1,000 @650、70隻。タイ4キロ @4,500 @3,500 @2,700、5隻。チダイ3キロ @1,600、5隻。イサギ4キロ @1,100、5隻。延縄エソ100キロ @90、チヌ3キロ @1,500、2隻。磯刺網クルマエビ9キロ @4,500、アイゴ7キロ @1,400 @150、グチ18キロ @150、エソ20キロ @60、23隻。突棒サザエ8キロ @600、アワビ4キロ @2,200 @1,300、タコ6キロ @800 @500、8隻。

※福良…石柙網シラサエビ1キロ @3,400、カワツエビ1キロ @1,600、小エビ20キロ @530、アサシタ5キロ @900、ガザミ20キロ @2,900 @350、37隻。各曳網タチウオ55キロ @1,000 @450 @250、120隻。サワラ5尾 @1,700、20隻。各一本釣タコ10キロ @500、20隻。アジ13キロ @650、5隻。八田網豆アジ300キロ @150、サバ300キロ @25、2統。

●本月の特記事項

※本年はメダカの稚魚(カスゴ)の出現時期は例年に比し早くまた量的にも近年にない多く明石瀬戸及びその東・西海域で操業中の桁曳網で1日1隻当たり平均4～5キロ(目廻り25～30g)の入網をみているまた各海域での小型底曳網で昨年に引続きクルマエビの好漁獲が短期間ではあるが目立ちとくに沼島周辺での磯刺網で1夜1隻当り3～15キロの羅網を見ている。(水試・岩井)

